

裾野麗峰山の会山行報告書

文・写真 後藤隆徳

山行番 NO. 1588
日時 2014.03.08(土)～09(日)
山域 清里・飯盛山(1643m)
参加者 後藤隆徳、小松眞明、掛橋智美＝3名

第1日目 03月08日(土・晴)

タイム 下土狩発6:00－大泉清里スキー場－飯盛山平沢登山道発14:38－飯盛山
15:54－登山口16:40－伊予ロッジ(泊)

標高差 上り＝平沢登山口約1220m～飯盛山1643m＝約423m
下り＝

本来の計画は、焼岳・乗鞍岳で山岳スキー・登山だった。しかし、この時期に珍しい、強烈な寒波の流入で好天候は望めなかった。やむなく計画変更でゲレンデ・スキー＋登山になった。

大泉清里スキー場は小さなスキー場で退屈だった。午前中で終了し飯盛山に遊びに行く。登山口下の「ロッジ飯盛山」駐車場(500-)に車を置き、午後の遅い登山開始。

登山口のある平沢は八ヶ岳の展望が素晴らしい所だった。しかし、先日の未曾有の降雪でこの辺りは4～5日、陸の孤島だったそうだ。若い衆が山から下りて来た。聞けば今日東京から来て、野辺山から上り縦走して来たと言う。小海線を利用すれば縦走が可能で楽しそうだ。

上り始めると何組かのパーティーが下りて来た。時間的にはもう下山の時間だ。ただ、既に三月。陽が伸びて、わがままな登山者には有難い。

簡単に林を抜けると展望が開け、飯盛山が見えた。真っ白な頂は格好良かった。ここを冬上るのは初めて。そして今日は「長靴登山」だった。明日、権現岳登山があるので、革靴を濡らしたくないのがその理由。誰かが「長靴は足が冷えるぞ」と言っていたが、全く問題なかった。里山で雪も腐っているので滑りもしなかった。

頂めざし一直線に高度を稼ぐ。一見時間が掛かりそうだったが、実際はそうでもなかった。右手に富士山が遠望出来た。

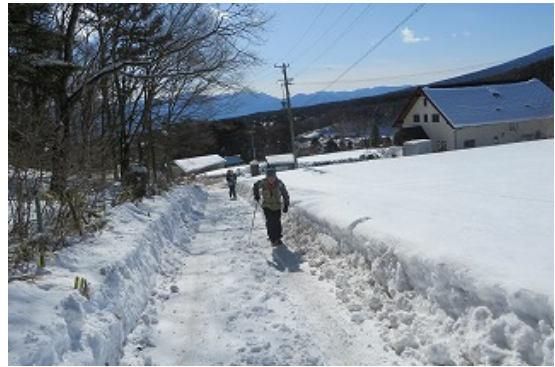
標高差通り、一時間ちょっとで頂上着。この頂上は数十年振り。展望は言うことはない。無風快晴の頂だった。頂上標柱に何故か、犬の首紐が巻いてあった。これは下山後分かったことだが、「ロッジ飯盛山」主人が先日、置いて来たものと言った。

下りはガンガン飛ばす。いくら陽が伸びたと言え、時間は気になった。ロッジで駐車料金を払いに行くと、主人のオジサンが可愛い犬を連れてやって来た。そこで頂上の犬紐の理由が判明した。

ロッジも主人もイイ雰囲気泊まりたかったが、予約の「伊予ロッジ」に向かう。ここのロッジも安価でイイ雰囲気。清里が好きになった。



平沢から八ヶ岳



登山口



長靴登山



飯盛山頂上



下山する



ロッジ飯盛山主人と
愛犬